

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会
「保育環境の充実のあり方に関するワーキンググループ」(保育環境 WG)
第3期(2025年度)合同調査 及び 保育環境 WG 参加会員
募集要項

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会

近年、変化が激しく先行きが見えない社会を生きる力を育むため、子どもの主体性を育む「自然保育」への関心が高まっており、多様な保育実践が広がるとともに、行政や保育者養成校、各種団体による支援や研究も広がりつつあります。さらに、森林・林業分野の行政等による「自然保育」のためのフィールド確保・整備等を支援する動きも広がりつつあります。

しかしながら、園庭・裏山・地域の森林等の確保・整備等を通じた「自然保育」の保育環境の充実のあり方は、その学際性から理論・方法論は十分に確立されておらず、また支援体制・支援策も限定的である場合が少なくないため、園等が新たな取組を着手する際にハードルがある場合が少なくありません。

こうしたことから、2023年度から、日本自然保育学会 実践・研究推進委員会では、地域の森林・自然環境等を活用した保育環境の質の充実のあり方や、その支援体制・支援策のあり方を協議する場として「保育環境の充実のあり方に関するワーキンググループ」(以下、「保育環境 WG」という。)を設置しました。2024年度には、全国に先駆けて「信州型自然保育(やまほいく)認定制度」を創設した長野県と連携して、全認定園を対象に実態調査を行い、一次分析の結果を公表したところです。(結果概要は、[日本自然保育学会ホームページ](#)をご覧ください)

今年度は、(1)「信州型自然保育(やまほいく)認定園」のうち、地域関係者との連携を促す仕組みを有し、かつ地域関係者や森林・自然関係者等と連携して森林・里山整備等を取り組むことで「多様な遊び環境」を生み出している先進園を視察する合同調査を実施します。(「別添資料」参照)

その上で、実態調査の二次分析を進めるとともに、(2)回答のあった認定園や学会会員が調査を希望する地域の園を中心に、どのように森林・里山等を確保し、保護者や地域等と連携して整備を行うことで、どのように「多様な遊び環境」を生み出しているかなどを、メンバーが分担して事例調査を行いつつ、論点をとりまとめます。

自然環境や地域資源を活用した保育環境の充実のあり方についてご関心のある学会会員を広く募集します。多くの学会会員の皆さまのご参画をお待ちしております。

記

1. 対象 日本自然保育学会 会員(入会予定の方を含む)

2. 内容 (1) 合同調査

〈日程〉2025年9月2日(火)～4日(木)

〈場所〉長野県伊那市・飯田市・上田市

〈内容〉「信州型自然保育(やまほいく)認定制度」による認定園のうち、所有または借受する森林・里山等があり、多様な地域関係者と連携して裏山整備等を行っている飯田市・伊那市・上田市の認定園を対象に現地調査を行い、園の保育者に加えて、地域関係者、森林・自然関係者等の視点を活かした保育環境の充実のあり方について調査を行い、意見交換します。

(2) 「保育環境 WG」への参画（「信州型自然保育認定園」等の事例調査の実施）

〈日程〉 2025年9月～2026年2月頃

〈場所〉 オンライン会議システム

〈内容〉 長野県と連携した「信州型自然保育認定園」を対象にした実態調査も参考に、森林・里山等の自然をフィールドとして整備・活用している園等を対象に、フィールドの①確保段階、②整備段階、③維持管理段階のそれぞれの段階で、どのような支援があり、どのような考え方で整備活動を実施しているかについて、分担して事例調査を行います。

特に、森林・里山等の整備に際して、「子どもの多様な遊び環境づくり」の観点から、どのような整備を行い、どのような遊び環境を生み出しているか等について事例分析・整理を行って頂きます。

そして、ワーキンググループメンバー全体で、「保育環境の充実のあり方の論点まとめ」を行います。

(3) 成果報告会の開催

- ・本ワーキンググループの成果を幅広く共有するため、2月27日（金）～3月1日（日）に開催される「日本自然保育学会第10回研究大会」（於：鶴見大学）において、希望する会員の発表機会を設定します。

(4) その他

- ・別途、保育所等による地域の森林・里山整備の事例集等の制作の相談があることから、本ワーキンググループメンバーのうち、可能なメンバーで対応します。

3. 行程

以下のスケジュールで実施します。

2025年7月上旬	・合同調査参加者・WGメンバーの公募開始
2025年7月26日（土）	・合同調査参加者・WGメンバーの公募締切
2025年8月中下旬	・2025年度第1回ワーキンググループ
2025年9月2～4日	・長野県内での合同調査（伊那市・飯田市・上田市）
2025年9月上旬	・2025年度第2回ワーキンググループ
2025年9月～2026年2月	・担当別に調査を実施
2025年10月9～10日	・「森と自然の育ちと学びフォーラム in 長野」参加（分科会・エクスカージョンで連携予定）
2026年1月	・2025年度第3回ワーキンググループ
2026年2月27日～3月1日	・「日本自然保育学会第10回研究大会」で成果発表等
2025年3月	・2025年度第4回ワーキンググループ ・2025年度の成果のとりまとめ

3. 申込

2025年7月26日（土）まで、以下のフォームによりご登録下さい。

《2025年度「合同調査」「保育環境WG」登録フォーム》

<https://forms.gle/SPvJkqXwa1qLc97c9>



4. 運営

2025年度の「保育環境WG」は、以下メンバーの協力を得て実施します。

〈世話人〉 ※日本自然保育学会 理事／実践・研究推進委員会 委員。企画チームを兼ねる

杉山 浩之（広島文教大学、ひろしま自然保育推進協議会 会長）

木俣 知大（(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構）

〈企画チーム〉

下村 一彦（東北文教大学）、藤井 徳子（金沢学院大学）

- 5. 経費等**
- ・「合同調査」の集合場所から調査先や、調査先間の移動経費（高速代・燃料代・車代等）と調査先の謝金は、学会側で負担します。
 - ・事例調査の旅費等は、各自でご手配ください。
- 6. 問合せ先**
- 日本自然保育学会 実践・研究推進委員会 2025 年「保育環境 WG」世話人
木俣 知大（東京学芸大 Explayground 推進機構／日本自然保育学会 理事）
E-mail : tomohiro_kimata@yahoo.co.jp

以上

日本自然保育学会 実践・研究推進委員会 保育環境 WG
第3期（2025年度）合同調査 実施概要

【日程】2025年9月2日(火)～9月4日(木) 《部分参加も可能》

【行程】以下で実施予定です。（一部、現地との調整等の関係で、微調整を行う場合があります。）

日程	時間	調査先（住所）	集合時間・場所（予定）
9月2日 (火)	13:00 ～16:30頃	① 高遠第2第3保育園 (長野県伊那市)	12:30頃 中央本線「茅野」駅 《参考1参照》※宿泊は伊那市内
9月3日 (水)	9:00 ～12:00頃	② 東春近保育園 (長野県伊那市)	8:30頃 飯田線「伊那北」駅 ※前泊者は飯田から相乗りで移動
	13:30 ～16:30頃	③ 千代保育園 (長野県飯田市)	13:15 飯田線「千代」駅 ※宿泊は飯田市内
9月4日 (木)	9:30 ～12:00頃	④ 上田短期大学附属幼稚園 (長野県上田市)	9:30 幼稚園《参考2参照》 ※前泊者は飯田から相乗り
	～14:30頃	統括意見交換	

《参考1》

【新宿発】新宿駅 10:00⇒(あずさ13号)⇒茅野駅 12:06

【名古屋発】名古屋バスセンター10:00⇒(高速バス飯田駅前行)⇒飯田駅前 12:01

【長野発】長野駅前 8:40⇒(高速バス飯田駅前行)⇒飯田駅前 12:02

《参考2》上田短期大学附属幼稚園：上田電鉄「大学前」駅より徒歩10分。

帰路は「上田」駅まで送迎予定

【特徴】視察先の特徴は、以下となります。

視察先	特徴
長野県飯田市 ①千代保育園	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 飯田市千代地区内の保育園は、20年前に少子化により園児減少で統廃合か民営化が求められる中で、「千代の子は千代で育てる」という地域の熱意・善意で、地域住民が出資した社会福祉法人を設立して、公立保育園を民営化して継承。（経緯はコチラを参照） ▶ 民営化を機に、裏山は取得（保護者会等で整備）、田んぼは借受し（NPO等と連携）、幅広い住民が「わが町の保育園」という意識で協力して、地域に根差した保育を進めつつ、近年、長野県「自然保育活動フィールド等整備事業」の補助金を活用して、裏山整備を進めて遊び環境を多様化。 ▶ 飯田市では「いいだ型自然保育」を推進しているため、保育者は「自然体験活動指導者(NEALリーダー)」の取得等の研修も実施。
長野県伊那市 ②東春近保育園 ③高遠第2第3保育園	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 伊那市では全保育園が「地域運営委員会」を設置し、地元学校・公民館や区長・民生委員等と関係構築ができ、人事異動があっても地域関係者との関係性を再構築し、地域と連携した取組を実施。 ▶ 「東春近保育園」は、園舎の建て替え時に遊び場が不足する状況から、地域関係者が立ち上がり、園に隣接する裏山を公有地化（市に譲渡）し、里山保全団体「『老松場の丘・古墳公園』整備委員会」を立ち上げて、林野庁「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」や長野県「自然保育活動フィールド等整備事業」等の補助金を活用

	<p>して、地域が主体となった整備活動を実施。</p> <p>➤ 「高遠第2第3保育園」では、少子化による園児減少で休園の危機に直面した際に、保護者と地域関係者が「高遠第2・第3保育園の存続と未来を考える会」を設置。地域と連携して、長野県「自然保育活動フィールド等整備事業」等を活用して裏山整備等を行いながら、「信州型自然保育」の特化型認定を取得。結果として、子育て世代の移住促進を図られ、現在では在園児の9割が移住者。</p>
<p>長野県上田市 ④上田短期大学 附属幼稚園</p>	<p>➤ 地域住民や森林・自然関係等の多様な専門性を有する関係者との連携した「やまの森づくりプロジェクト」を立ち上げ、「緑の募金」助成金等を活用して、地域の歴史・文化や暮らし、生き物との関わりなど多様な視点から遊び環境を充実させる整備活動を開始。</p> <p>➤ 週末に園児・卒園児・保護者等が参加した整備活動を実施し、卒園児保護者グループの立ち上げや、5回以上参加した園児・児童を「やまもり KIDS」と任命するなど主体化した取組を実施</p> <p>➤ 午後には、合同調査を総括する意見交換を実施</p>

【経 費】 各集合場所までは、各自でお越し下さい。また、宿泊の経費は、各自でご負担ください。なお、最寄り駅から調査先、調査地間の移動は、相乗りで移動予定です。(高速代・燃料代・車代等や、調査先の謝金等は学会側で負担します)

【その他】 不明点・ご要望等ございましたら、以下の保育環境 WG 世話人までお問い合わせ下さい。
木俣 知大 (東京学芸大 Explayground 推進機構) E-mail : tomohiro_kimata@yahoo.co.jp